

土壌汚染情報公開台帳

(案件No.9)

整理番号	102-9	調製年月日・契機	令和4年7月20日	・ 条例第116条第1項第1号
所在地	築地五丁目1番1号	(地番)	築地五丁目2番1号	(住居)
訂正年月日・契機				
工場又は指定作業場の名称 (土地の改変に係る事業の名称)	株式会社 日刊食料新聞	面積	202.47 m <sup>2</sup> (汚染地)	295.67 m <sup>2</sup> (調査)
汚染状況調査の方法に関する特記事項				
当該土地において講じられた健康被害の防止又は周辺地下水汚染拡大の防止のための措置がある場合は、その内容				
当該土地に第122条第1項第2号の土壌がある場合は、その旨 (汚染の原因が水処理立材に由来する場合は、その旨)				
当該土地が第54条第3項第1号に該当する場合は、その旨				
当該土地が第55条第3項に該当する場合は、その旨				
当該土地が土壌汚染対策法の規定に基づき要措置区域又は形質変更所要届出区域に指定された区域を含む場合は、その旨				
備考				
報告受理年月日	特定有害物質の種類	適合しない基準項目		汚染状況調査の受託者
令和4年7月12日	鉛及びその化合物	含有基準	第二溶出量基準	株式会社環境管理センター
令和4年7月12日	砒素及びその化合物	含有基準	第二溶出量基準	株式会社環境管理センター
		含有基準	第二溶出量基準	
		含有基準	第二溶出量基準	
		含有基準	第二溶出量基準	
		含有基準	第二溶出量基準	
土壌の汚染状況				





## 1. 概況調査の概要

### 1.1 調査目的

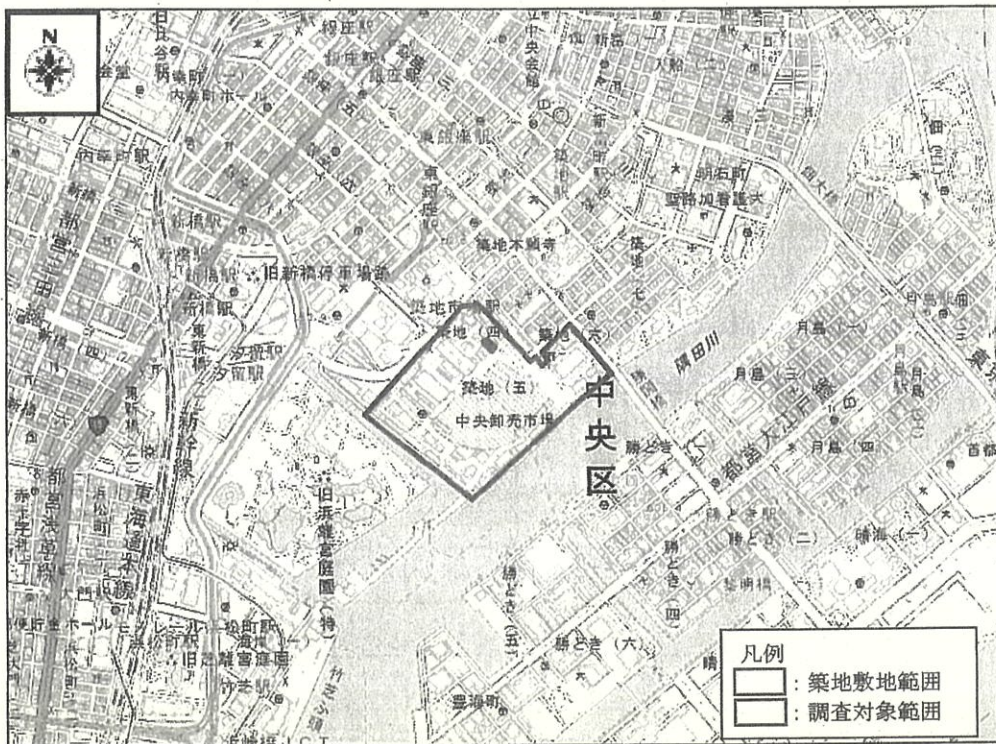
本調査は、土壤汚染対策法（以下「法」という。）第4条及び都民の健康と安全を確保する環境に関する条例（以下「条例」という。）117条に基づき、土地の形質変更に先だって、土壤汚染状況調査（概況調査）を実施したものである。

### 1.2 調査対象地

住所：東京都中央区築地五丁目地内（地番）

調査対象地面積：295.67 m<sup>2</sup>

調査対象地位置図を図1-1に示す。



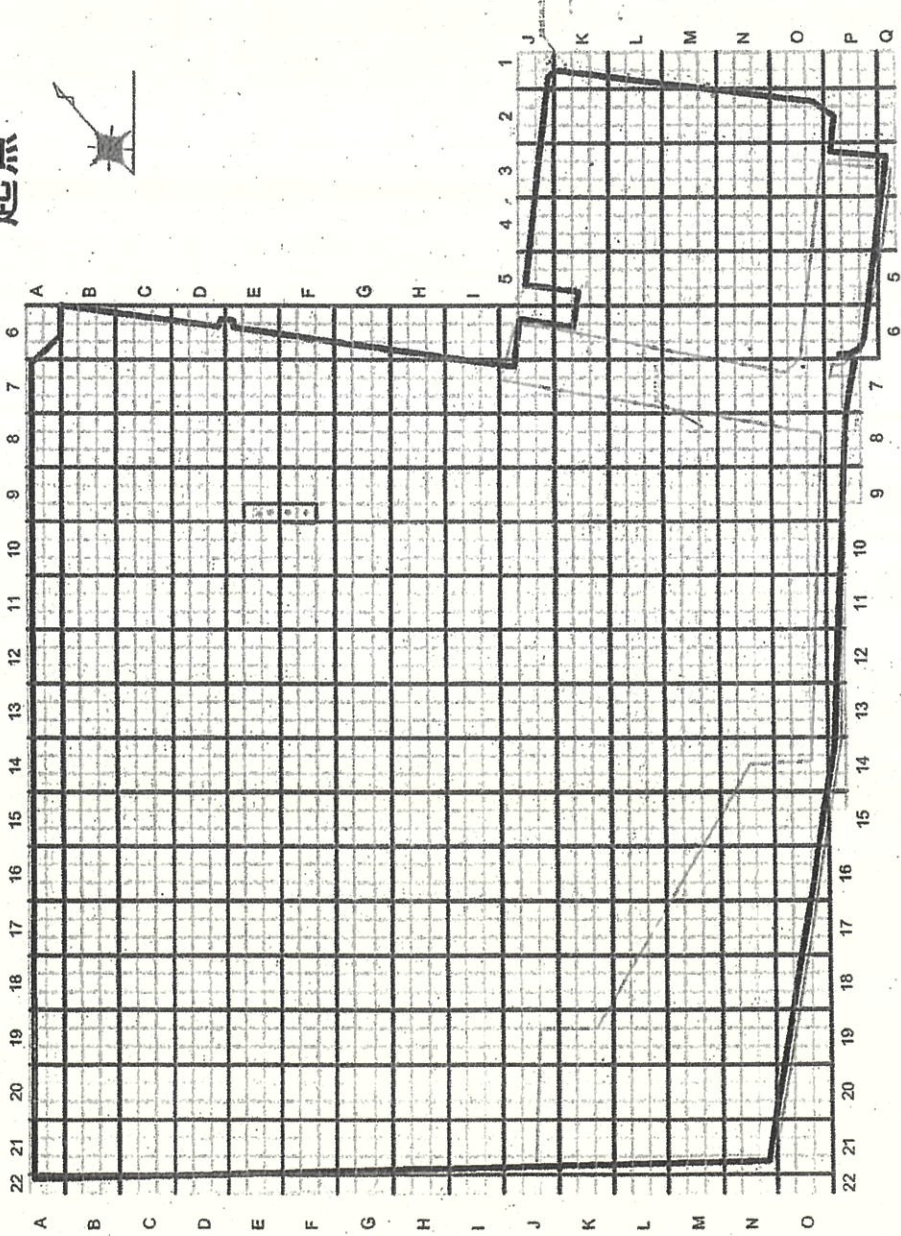
出典：「地理院地図」（国土地理院）

図1-1 調査対象地位置図

【凡例】

- : 敷地境界
- : 単位区画
- : 30m格子
- : 現立指定輪圍
- : 調査範囲
- : 敷層土壌調査地点 (土壌+土壌ガス) (4地点)

起点



調査地点名の設定

7	4	1
8	5	2
9	6	3
A		

OはA1-を省略す。

図 3-2 調査点図



表 4-1 第一種特定有害物質調査結果

(単位:volppm)

分析項目名 試料名	クロロ エチレン	1,1-ジクロロ エチレン	ジクロロ メタン	1,2-ジクロロ エチレン	1,1,1-トリ クロロエタン	四塩化炭素	1,2-ジクロロ エタン	トリクロロ エチレン	1,3-ジクロロ プロペン	ベンゼン	1,1,1-トリ クロロエタン	テトラクロロ エチレン
E9-8	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
E9-9	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
F9-7	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
F9-8	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
定量下限値	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.05	0.1	0.1

注1) 測定の方法は平成15年環境省告示第16号に定められる方法のうち、ポータブルGC-PIDおよびGC-DELCD法により実施。

注2) 不検出は定量下限値未満を示す。

表 4-2 第二種特定有害物質調査結果 (溶出量)

試料名	単位: mg/L												
	分析項目名	カドミウム及び その化合物	六価クロム 化合物	シアニド化合物	水銀及び その化合物	アルキル水素	セレン及び その化合物	鉛及び その化合物	砒素及び その化合物	銅及び その化合物	マンガン及び その化合物	亜鉛及び その化合物	その他
E9-6	不検出	0.016	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.005	0.16	0.1		
E9-9	不検出	0.009	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.001	0.43	0.2		
F9-7	不検出	0.006	不検出	不検出	不検出	0.001	不検出	不検出	0.012	0.26	不検出		
F9-8	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.016	不検出	0.007	0.21	不検出		
土壌抽出量基準	0.003以下	0.05以下	検出されないこと	0.0005以下	検出されないこと	0.01以下	0.01以下	0.01以下	0.01以下	0.8以下	1以下		
第二種抽出量基準	0.090以下	1.50以下	1	0.0050以下	検出されないこと	0.30以下	0.30以下	0.30以下	0.30以下	24.0以下	30以下		
定量下限値	不検出	0.005	0.1	0.0005	0.0005	0.001	0.001	0.001	0.001	0.08	0.1		

注1) 表中の不検出は定量下限値未満を示す。  
 注2) 土壌抽出量基準の「検出されないこと」は定量下限値を下回ることである。  
 注3) 基準の「以下」は、基準値と同数までは基準適合を示す。  
 注4) 「1」は基準不適合を示す。

表 4-3 第二種特定有害物質調査結果 (含有量)

試料名	単位: mg/kg												
	分析項目名	カドミウム及び その化合物	六価クロム 化合物	シアニド化合物	水銀及び その化合物	アルキル水素	セレン及び その化合物	鉛及び その化合物	砒素及び その化合物	銅及び その化合物	マンガン及び その化合物	亜鉛及び その化合物	その他
E9-6	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	920	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
E9-9	不検出	不検出	不検出	2.5	不検出	不検出	150	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
F9-7	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
F9-8	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	500	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
土壌含有量基準	45以下	250以下	50以下	15以下	15以下	150以下	150以下	150以下	150以下	4000以下	4000以下	100	
定量下限値	1.0	25	5	1.5	1.5	15	15	15	15	100	100	100	

注1) 表中の不検出は定量下限値未満を示す。  
 注2) 基準の「以下」は、基準値と同数までは基準適合を示す。  
 注3) 「1」は基準不適合を示す。

表 4-3 第三種特定有害物質調査結果

単位:mg/L

試料名	分析項目名	シマジン	チオベンカルブ	チウラム	ポリ塩化 ビフェニル	有機りん 化合物
E9-8		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
E9-9		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
F9-7		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
F9-8		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
	土壌溶出量基準	0.003以下	0.02以下	0.006以下	検出されないこと	検出されないこと
	第二溶出量基準	0.03以下	0.2以下	0.06以下	0.003以下	1以下
	定量下限値	0.0003	0.002	0.0006	0.0005	0.1

注1) 表中の「不検出」は定量下限値未満を示す。

注2) 土壌溶出量基準の「検出されないこと」は定量下限値を下回ることである。

注3) 基準の「以下」は、基準値と同数までは基準適合を示す。



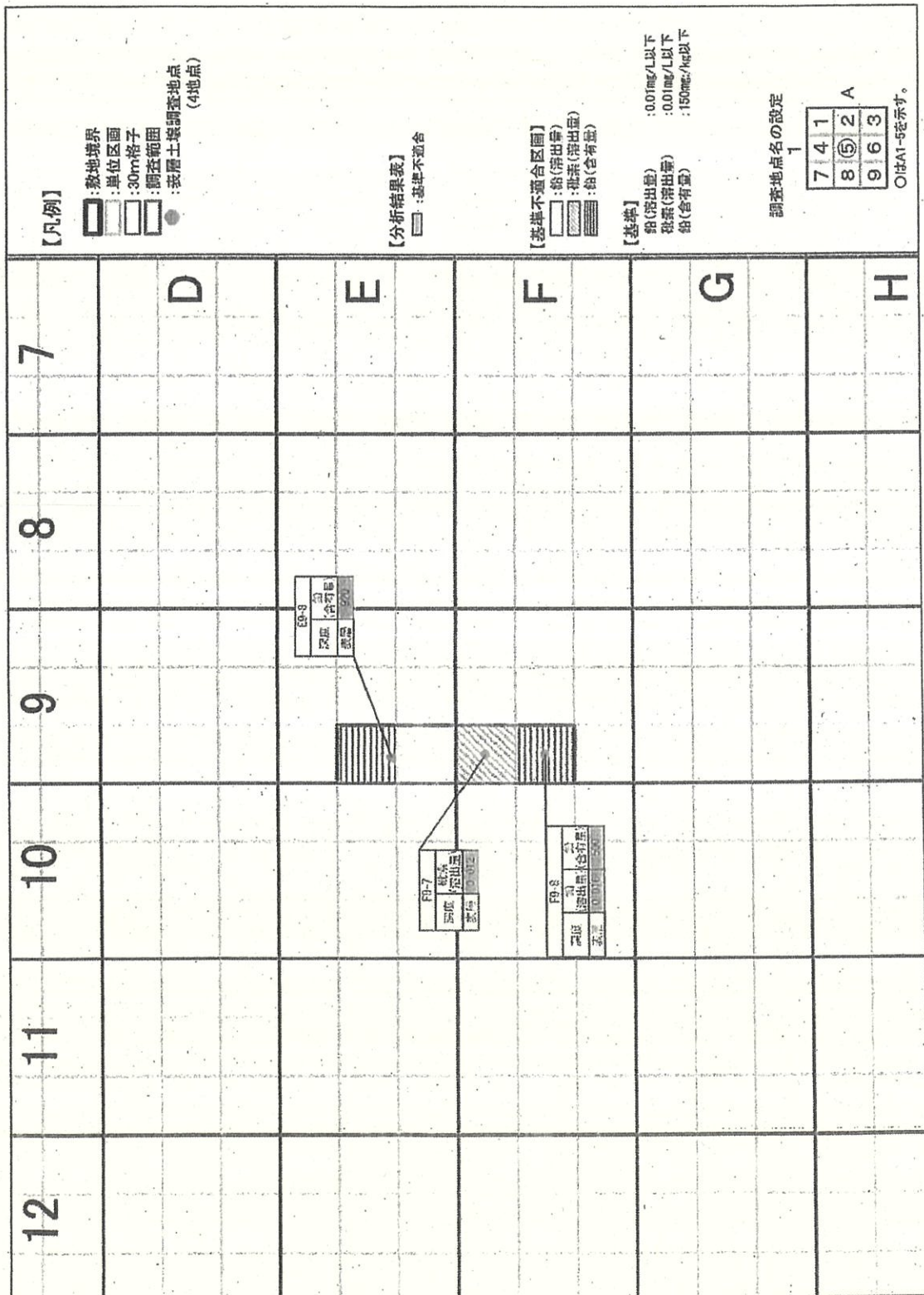


図 5-1 土壌汚染状況図



# 1. 詳細調査の概要

## 1.1 調査目的

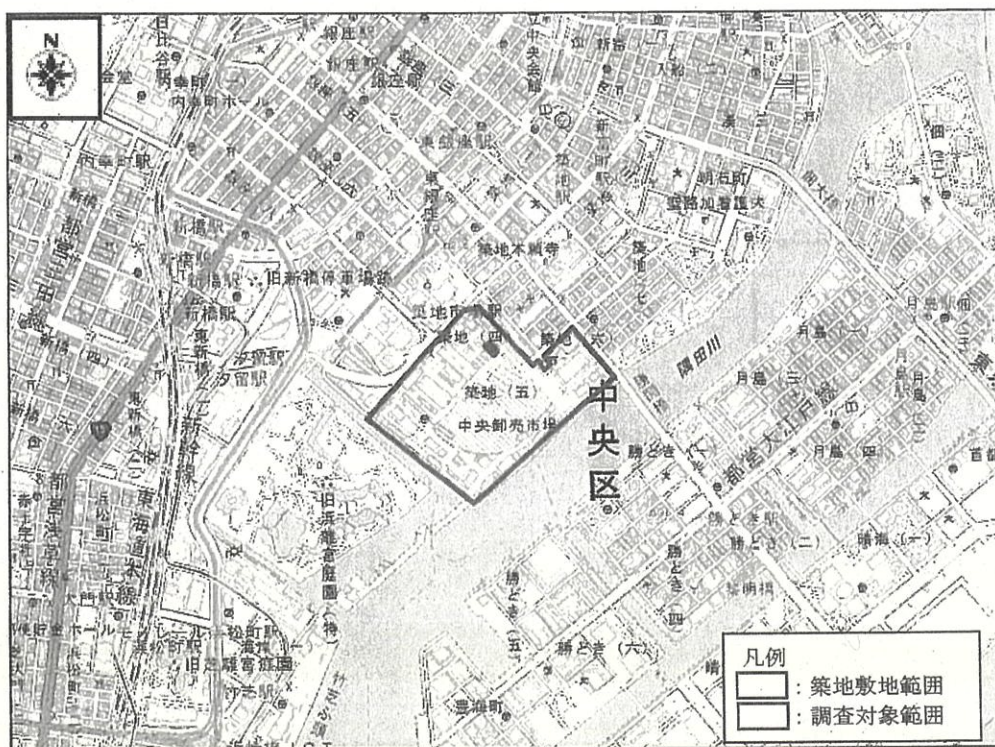
先に実施した土壌汚染状況調査（概況調査）及び先行調査として他社が実施した土壌汚染状況調査（概況調査）において、特定有害物質による基準不適合土壌が確認された。本調査は、基準不適合が確認された単位区画について、ボーリング調査を行い、深度方向の汚染状況を把握することを目的とした。

## 1.2 調査対象地

住所：東京都中央区築地五丁目地内及び同区築地六丁目地内（地番表示）

調査対象地面積：295.67 m<sup>2</sup>

調査対象地位置図を図 1-1 に示す。



出典：「地理院地図」（国土地理院）

図 1-1 調査対象地位置図

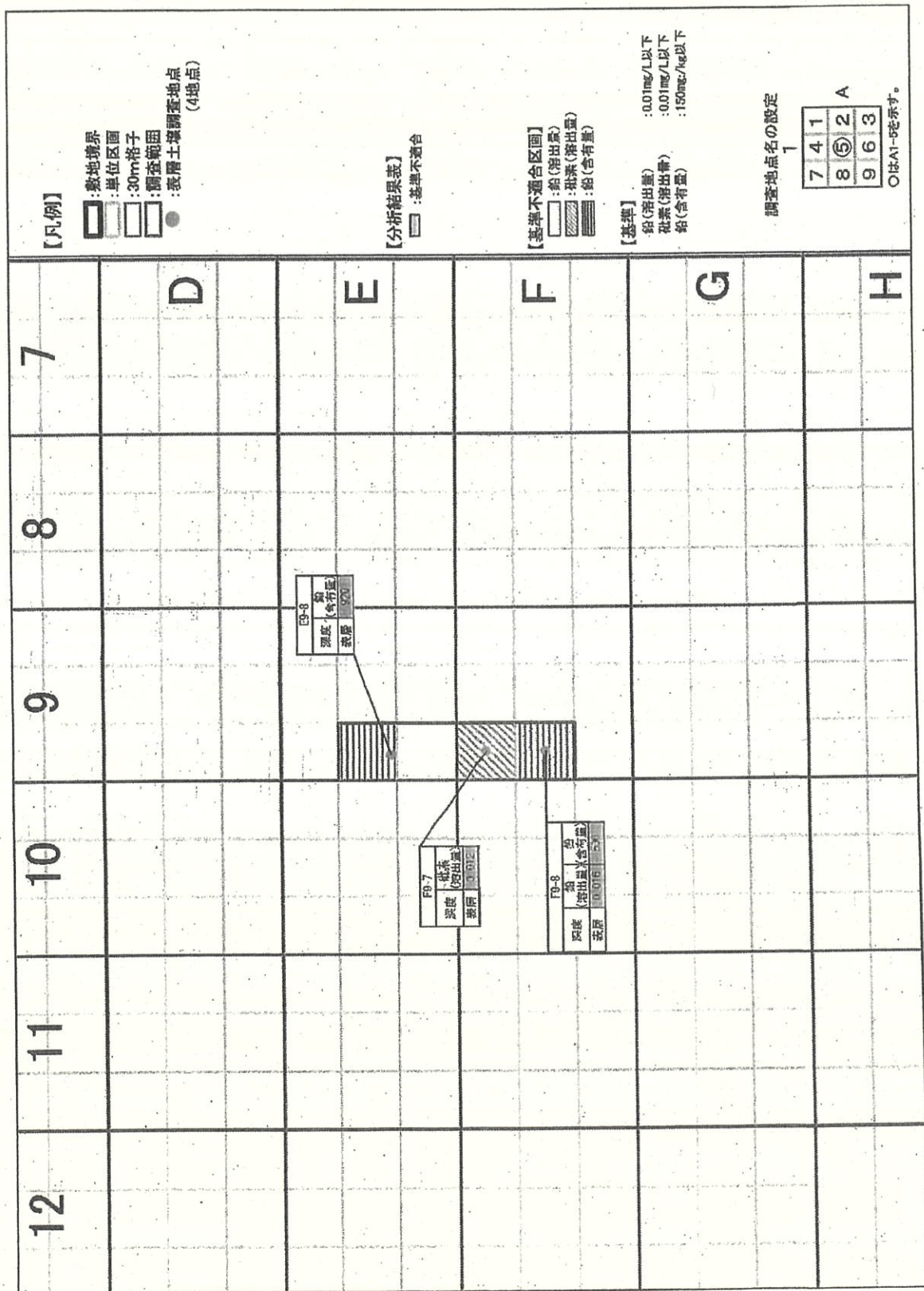


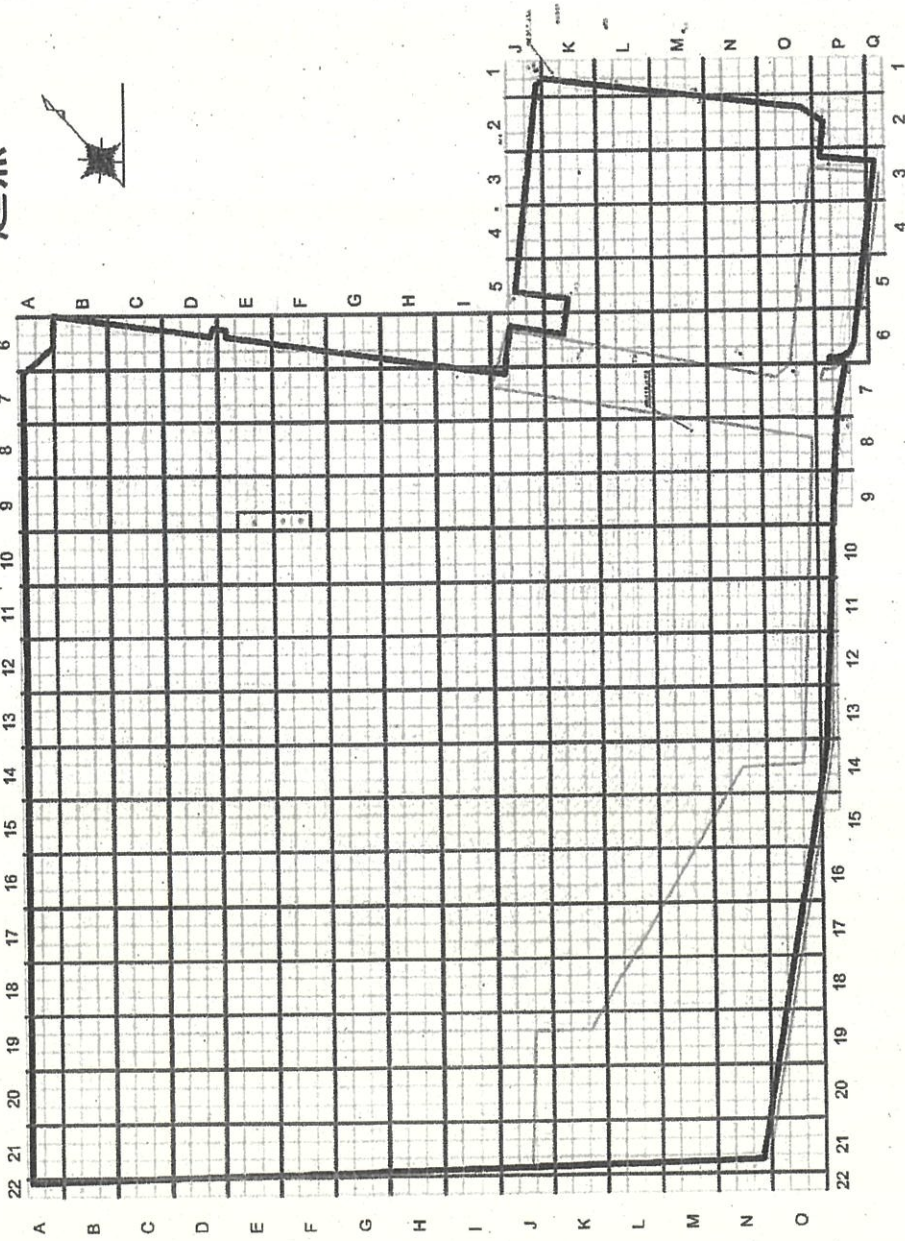
図 1-2 概況調査結果図



【凡例】

- : 敷地境界
- : 単位区画
- : 30m格子
- : 埋立想定範囲
- : 調査範囲
- : 調査地点

起点



調査地点名の設定

7	4	1
8	5	2
9	6	3
A		

OはA1-5を示す。

図 5-1 詳細調査地点図

6. 詳細調査結果の一覧表

6.1 詳細調査結果

基準不適合深度を表 6-1、詳細調査結果を表 6-2 に示す。

詳細調査の結果、2 深度連続した基準適合が確認されていない地点は確認されなかった。

表 6-1 基準不適合深度

深度確定の有無	連続した基準適合が確認された深度	地点数	地点名
2深度以上連続した基準適合が確認 (3地点)	1.0m以深	1地点	E9-8
	4.0m以深	1地点	F9-8
	8.0m以深	1地点	F9-7

表 6-2 詳細調査結果

地点名 分析項目名 深度(m)	E9-8 鉛		F9-7 砒素		F9-8 鉛	
	溶出量 (mg/L)	含有量 (mg/kg)	溶出量 (mg/L)	含有量 (mg/kg)	溶出量 (mg/L)	含有量 (mg/kg)
表層 (0~-0.5m)	基準適合	920	0.012	基準適合	0.016	500
-1.0m		19	0.004		0.015	58
-2.0m		66	0.004		0.012	22
-3.0m		不検出	0.001		0.015	41
-4.0m		不検出	0.001		0.003	不検出
-5.0m		不検出	0.001		0.001	不検出
-6.0m		不検出	0.004		0.004	不検出
-7.0m		不検出	0.018		0.005	不検出
-8.0m		不検出	0.004		0.002	不検出
-9.0m		不検出	0.002		0.004	不検出
-10.0m		不検出	0.002		0.004	不検出
地下水		-	0.001		不検出	-
基準	0.01以下	150 以下	0.01以下	150 以下	0.01以下	150 以下
第三溶出量基準	0.30以下	-	0.30以下	-	0.30以下	-

注1) 表中の不検出は定量下限値未満を示す。

注2) 「表層 (0~-0.5m)」欄の数値等は、土壤汚染状況調査時の分析結果を示す。

注3) 基準の「以下」は、基準値と同数までは基準適合を示す。

注4) [ ] は基準不適合を示す。

注5) [ ] は調査対象外を示す。

注6) 「-」は分析未実施を示す。



## 6.2 まとめ

詳細調査の結果、基準不適合が確認された地点数は、鉛（溶出量）は1地点、砒素（溶出量）は1地点、鉛（含有量）は2地点であった。

調査結果概要を表6-3に示す。

表6-3 調査結果概要

第二種特定有害物質 土壌溶出量						
試験項目	基準値超過地点数	最大値		最大値/基準値	基準	単位
		最大値	地点			
鉛及びその化合物	1	0.016	F9-8	1.6倍	0.01以下	mg/L
砒素及びその化合物	1	0.018	F9-7	1.8倍	0.01以下	mg/L

第二種特定有害物質 土壌含有量						
試験項目	基準値超過地点数	最大値		最大値/基準値	基準	単位
		最大値	地点			
鉛及びその化合物	2	920	E9-8	6.1倍	150以下	mg/kg

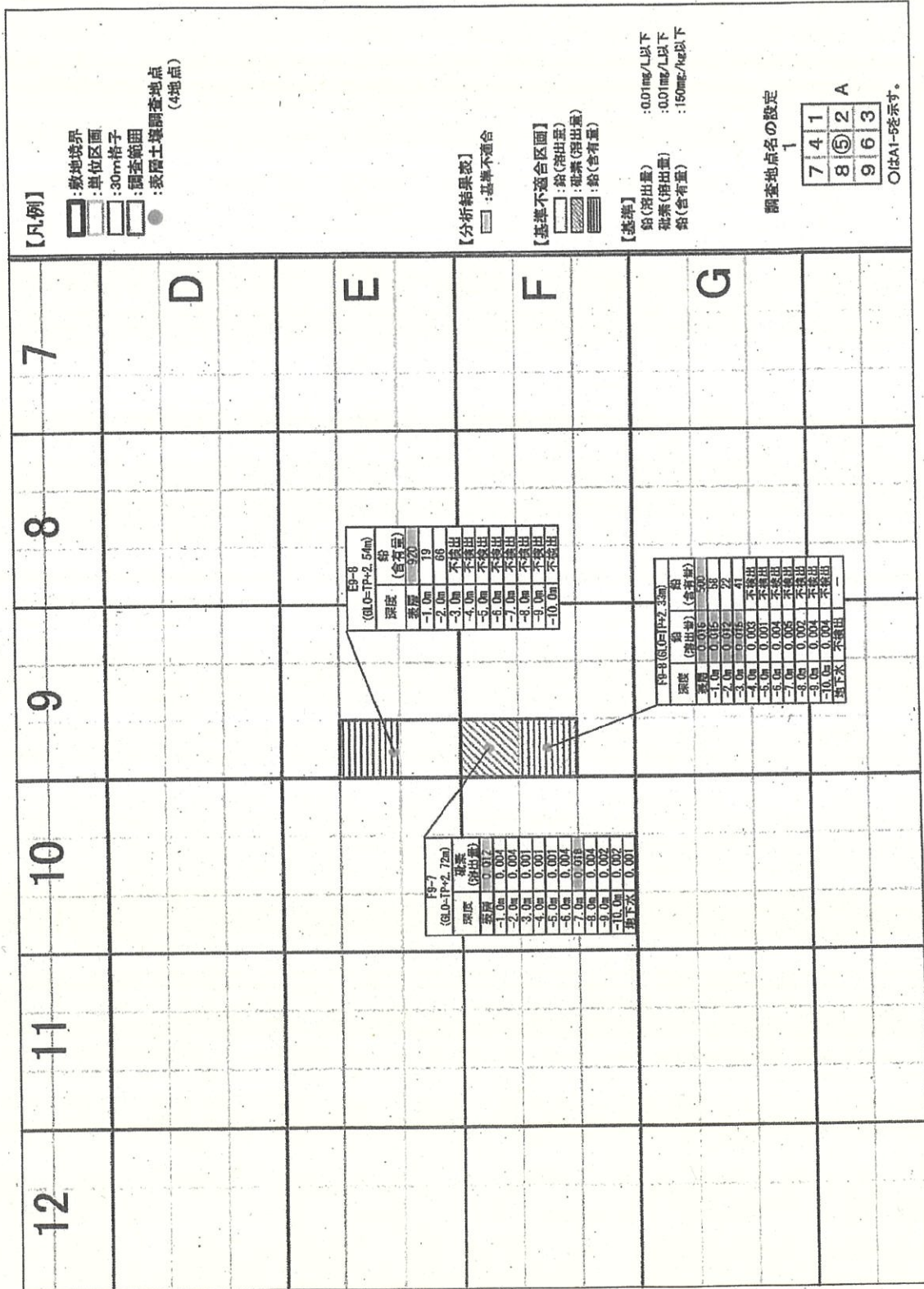


図 7-2 土壌汚染状況平面図